

平成26年度 総務部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
地方分権の進展により、地方自治体に自己決定・自己責任が求められている中にあって、市の業務の総合的な管理と職員の育成を進め、適正かつ公正で、透明性が高く、効果的な行政を進める行財政運営の基盤を確立する。	1.開かれた市政に向けた仕組みの充実 2.平和都市推進協議会との連携と平和施策の推進 3.財政健全化の推進	・市政への信頼確立と市民参画の推進を図るために、一層の情報公開を進めるとともに、更なる個人情報保護意識の高揚を図るための取り組みを推進する。 ・平和都市推進協議会と連携を図りながら、市民の平和意識の高揚を図るための取り組みを推進する。 ・健全な財政運営を推進するため、自主財源の確保に努める。	・個人情報保護意識の実施 ・「行政資料コーナー」配架方法の見直しの検討 ・出資法人等の情報公開の充実 ・「平和のつどい」をはじめとする各種平和推進事業の積極的な周知と円滑な実施 ・ふるさと納税制度の拡充等により新たな財源確保を行う。	・個人情報保護研修を11月に実施した。 ・行政資料コーナーの配架方法の検討を行ったが、現状特に問題もなく、現行のままで行うこととした。 ・1出資法人及び4指定管理者において情報公開規程が施行された。 ・平和関係の行事は積極的に周知を行い、小中学生ひろしま訪問事業、平和のつどい、平和展、こども平和映画会が円滑に実施が出来、市民の平和意識の高揚が図れた。 ・5月から制度を拡充し、市ホームページやチラシを通してPRを行った結果、166件（昨年度10件）、328万円（昨年度110万円）の寄附があった。	A	
					A	
					A	

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成26年度 総務部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	4.時間外勤務の縮減に向けての取組み	・過重労働による健康被害の防止のため、特に長時間勤務者の減少を図る施策を中心に、時間外・休日勤務縮減計画に基づき、対策を実施する。	・時間外勤務時間数、長時間勤務者等の情報に前年度の実施状況との比較を加えたものを、部局長と副部長へ毎月通知し、各部局が積極的に管理・対策を行ふように促す。 ・長時間勤務者について勤務状況、要因を所属長から毎月報告してもらい、継続的に管理し、それを基に縮減に向けた面談等を実施する。	・平成25年度→平成26年度実績（市長部局における実績） *2月実績分までの比較 500時間を超える時間外勤務を行った人数 20人→24人 ・7月より月45時間以上の長時間勤務者について所属長が要因の分析と今後の対策を策定し、部局内でその内容を確認して各人事担当課へ提出することとした。	B	
	5.人事評価の安定的かつ円滑な運営	・本格実施に伴い生じた課題や評価結果の傾向を分析し、人事評価制度を安定的に円滑に運営していくことをめざす。	・人事評価制度の本格実施後に生じている課題や問題点の洗い出しを常時行う。 ・評価結果の分析を行い、人事評価制度の改善を常時図っていく。 ・職員の理解を深めるため、業績評価における適切な目標設定についての研修を実施する。	・人事評価の結果に基づいて給与等に反映した。 ・前年度からの課題であった評価過程における部局内調整の追加や能力評価と業績評価（上半期）評価基準日の変更とそれに基づく評価シート様式を見直すことで改善を図った。 ・能力評価でB評価（標準）以外の評価となる場合に添付すべき指導観察記録や行動記録が不十分であった。 ・管理職及び監督職を対象とした研修を2月に実施した。	B	

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成26年度 総務部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	6.情報システムの安全性の向上	・災害及びシステム障害発生時における迅速な業務復旧と継続を図るため、住基関係証明書発行用システムの構築を行う。	・広域データバックアップサービスを利用整備するとともに、必要となる機器等の整備を進める。	・住基関係証明書の発行におけるバックアップシステムを導入し、証明事務の安定化を図った。 ・行政データについて、広域的な自治体クラウド事業を利用し、有事に備え、バックアップ体制を整備した。 ・電算室内で分電盤改修を行い、システム機器類への電源の安定供給の確保を行った。	A	

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】